

## ご挨拶

本日は、ご多忙の中、会員の皆様ならびに森林・林業に関心をお持ちの皆様に多数ご参加頂きありがとうございます。

今回で6回目の研究会開催となるのですが、回を重ねますごとに、研究発表も広い分野におよび、件数も増加してきております。会員の皆様の日頃の努力に改めて敬意を表する次第であります。

昨今、森林の果たす役割や期待する機能に対する関心が、人類の将来にも関わる全地球的に重大な課題として注目されています。環境に優しい再生産可能なエネルギーや木材等の経済資源としてはもちろん、生物多様性の保全、地球温暖化防止に必要なCO<sub>2</sub>吸収源といった環境資源としての森林の役割など、森林の重要性が再認識されつつあります。

森林・林業に関する知識や経験豊富な皆様は、多岐にわたる森林の機能が調和的に発揮されることが大事であることをよく承知されていると思います。

そのような森林を維持するためには、森林が適正に育成・管理されることが前提となります。たとえば、CO<sub>2</sub>削減への森林の貢献については、健全に成長している森林でなければなりません。荒廃した森林や成長が止まって光合成によるCO<sub>2</sub>吸収と呼吸による酸素吸収が拮抗した老齢過熟な森林においては、地球温暖化への貢献の度合いは、著しく限定されたものとなってしまいます。また、生物多様性についても、林齢、樹種、林種、林分構造等、多様な森林が存在することが有効だと考えられます。

このように、森林の各種機能を効果的に発揮するためには、適切な森林施業が重要であり、森林の持続的保全には適切な育成と活用および維持管理のバランスが重要であることは明らかです。森林行政や研究に携わるものには、そのことを広く普及・啓発する活動が求められております。

今後、本会の活動がその一助となることと、皆様のますますのご活躍を期待しましてご挨拶と致します。

平成22年9月3日

亜熱帯森林・林業研究会長 安里 練雄